

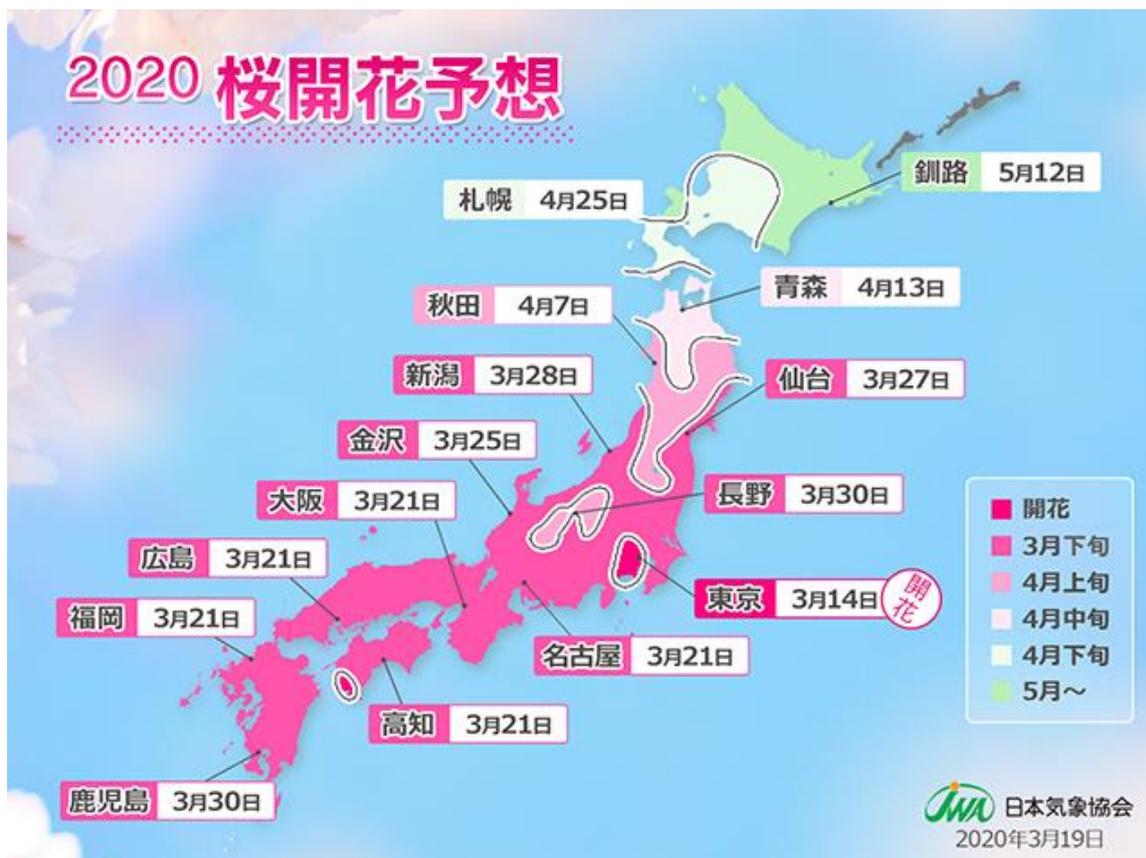
【報道関係各位】

2020年3月19日
一般財団法人 日本気象協会

2020年桜開花予想(第5回) この先西日本、東日本で開花ラッシュ 満開トップは東京で3月23日

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:長田 太、以下「日本気象協会」)は、日本全国 88 点の桜[ソメイヨシノ ほか]の開花予想(第5回)を、2020年3月19日(木)に発表します。

■2020年開花予想前線図



高知県宿毛の標本木(3月17日撮影)
複数の枝で、10数輪の花が開いていることが確認され、17日に開花となりました。



愛媛県宇和島の標本木(3月17日撮影)
16日に開花となりました。高い位置の花が、たくさんの日差しを浴びて、青空の元で開花しました。



広島県の標本木(3月17日撮影)
この先は、4月並みの陽気が続く見通しですので、早いところでは3連休中に咲き始めそうです。



■2020年 開花予想日・満開予想日(主な地点)

開花日

	地点	予想日	傾向	平年開花日	2019年	最も早い開花日
鹿児島県	鹿児島市	3月30日	遅い	3月26日	3月25日	3月15日(2013)
福岡県	福岡市	3月21日	平年並	3月23日	3月21日	3月13日(2013,2009)
高知県	高知市	3月21日	平年並	3月22日	3月22日	3月10日(2010)
広島県	広島市	3月21日	早い	3月27日	3月22日	3月19日(2004)
大阪府	大阪市	3月21日	かなり早い	3月28日	3月27日	3月20日(2018,2002)
愛知県	名古屋市	3月21日	かなり早い	3月26日	3月22日	3月17日(1990,1989)
東京都	千代田区	3月14日	かなり早い	3月26日	3月21日	3月14日(2020)
長野県	長野市	3月30日	かなり早い	4月13日	4月13日	4月2日(2018,2002)
新潟県	新潟市	3月28日	かなり早い	4月9日	4月5日	3月30日(2002)
石川県	金沢市	3月25日	かなり早い	4月4日	4月1日	3月26日(2002,1989)
宮城県	仙台市	3月27日	かなり早い	4月11日	4月5日	3月29日(2002)
秋田県	秋田市	4月7日	かなり早い	4月18日	4月16日	4月7日(2002)
青森県	青森市	4月13日	かなり早い	4月24日	4月18日	4月14日(2015,2002)
北海道	札幌市	4月25日	かなり早い	5月3日	4月24日	4月21日(2008)
北海道	釧路市	5月12日	早い	5月17日	5月9日	5月6日(2015)

満開日

	地点	予想日	傾向	平年満開日	2019年	最も早い満開日
鹿児島県	鹿児島市	4月7日	遅い	4月4日	4月9日	3月26日(2013)
福岡県	福岡市	3月31日	平年並	4月1日	3月29日	3月22日(2013)
高知県	高知市	3月29日	平年並	3月30日	3月29日	3月19日(2018)
広島県	広島市	3月30日	早い	4月4日	4月3日	3月27日(2002)
大阪府	大阪市	3月30日	早い	4月5日	4月4日	3月26日(2018)
愛知県	名古屋市	3月28日	早い	4月3日	4月4日	3月27日(2018)
東京都	千代田区	3月23日	かなり早い	4月3日	3月27日	3月21日(2002)
長野県	長野市	4月5日	かなり早い	4月17日	4月18日	4月5日(2002)
新潟県	新潟市	4月3日	かなり早い	4月14日	4月12日	4月4日(2002)
石川県	金沢市	3月31日	かなり早い	4月10日	4月6日	4月1日(2004,2002)
宮城県	仙台市	4月5日	かなり早い	4月16日	4月10日	4月3日(2002)
秋田県	秋田市	4月12日	かなり早い	4月22日	4月20日	4月12日(2002)
青森県	青森市	4月19日	かなり早い	4月29日	4月22日	4月16日(2002)
北海道	札幌市	4月30日	かなり早い	5月7日	4月29日	4月25日(2008,2002)
北海道	釧路市	5月15日	早い	5月20日	5月13日	5月8日(2015)

*開花予想日、満開予想日の[]はすでに開花や満開になった地点です。

* は、開花・満開の記録を更新した地点です。

■開花と満開の傾向

桜の開花は全国的に平年より早いでしょう。平年より3日～7日早く開花するところが多く、平年より10日～2週間以上も早まることもある見込みです。記録的な早さとなるところもあるでしょう。

3月14日に、全国のトップをきって、東京で桜が開花しました。14日の東京は真冬並みの厳しい寒さでしたが、それまでの暖かさで開花が進んだと考えられます。この14日の開花は2002年と2013年の3月16日を抜いて、統計開始(※1)以来、最も早い開花となりました。続いて、16日に愛媛県宇和島、八王子で開花、17日には高知県宿毛、18日には横浜、熊谷で開花となりました。このあとは、20日に前橋などで開花、21日には福岡、大阪、名古屋などで、続々と開花の便りが届く見込みです。3月末までには九州から関東、東北南部にかけての広い範囲で開花し、4月上旬には東北北部で咲き始めるでしょう。桜前線は4月下旬に津軽海峡を渡って、函館では4月22日、札幌は4月25日に開花する見込みです。



この冬(12月～2月)は、全国的に気温がかなり高く、西・東日本では気温の統計開始(※2)以来、最も高い記録を更新しました。また、日本海側では降雪量が記録的に少なくなりました。この先、4月にかけても暖かい傾向が続く見通しです。

この冬の桜の花芽の休眠打破(※3)は、やや遅れました。4月にかけて、全国的に気温が平年より高く経過し、花芽の生長が促されると見込まれるため、開花予想日は全国的に早まっています。なお、鹿児島は冬期の冷え込みが弱いことから、他の地域に比べて休眠打破の遅れが大きいと考えられるため(※4)、開花は平年より遅くなる見込みです。

満開日は、おおむね開花日の1週間から10日くらい後で、全国的に平年より早いでしょう。関東、北陸、東北では平年より10日前後早いところが多い見込みです。予想満開日が最も早いのは東京の3月23日で、平年より11日早くなりそうです。3月末は九州から関東で満開になるところが多いでしょう。

※1 桜の開花・満開の統計開始は1953年

※2 気温の統計開始は1946/47年

※3 休眠打破：前年の夏に形成され休眠に入った花芽が、冬になり一定期間の低温にさらされて目覚めること

※4 気温が高い場合、元々温暖な地域は現在より開花が遅れ、元々寒冷な地域は現在より開花が早まる傾向があります

全88地点の桜の開花予想日はこちら：<https://tenki.jp/sakura/expectation/>

【言葉の説明】

平年：1981～2010年の平均値

かなり早い：平年より7日以上早い

早い：平年より3日から6日早い

平年並：平年との差が2日以内

遅い：平年より3日から6日遅い

かなり遅い：平年より7日以上遅い



参考資料

桜開花予想に関するよくあるご質問

Q1: 桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1: 以下の日程を予定しています。2月中は開花予想日のみを発表し、3月以降は開花予想日と満開予想日を発表します。

第1回 2月6日(木)	第2回 2月20日(木)	第3回 3月5日(木)	第4回 3月12日(木)
第5回 3月19日(木)	第6回 3月26日(木)	第7回 4月2日(木)	第8回 4月16日(木)

Q2: 開花日・満開日の基準は？

A2: 気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5~6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

Q3: 予想する地点数は？

A3: 3月以降は全国で88地点の予想を発表します。予想地点88地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる35地点となります。

* 第5回(3月19日発表)より地点数を変更

Q4: 日本気象協会の桜開花予想の手法・特徴は？

A4: 花芽(はなめ)の生育過程に大きな影響を与える「秋以降の気温経過」に重点を置いた、独自の予測式を用いて開花予想を行っています。各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しているのが特徴です。

日本気象協会は2007年から桜の開花予想を実施しており、今年で14年目の取り組みです。

Q5: 開花予想に使うデータは？

A5: 以下データを使用しています。

- ①前年秋から予想作業日前までの気温観測値
- ②予想作業日から開花時期までの気温予測値(日本気象協会ポイント予報および長期予報)

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。